つるさき

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 697-6067
URL
http://turusaki2.web.fc2.com/

※掲載の写真パネルを撮影者の横山氏から提供を受けましたので、ご本人に贈呈致します。神社までお申し出下さい。

「祈り」まいられぇ岡山フォトコンテスト佳作（岡山市南区郡　横山朋子氏撮影）

疫病を克服

中国の武漢で発生した新型コロナウイルス感染症が、今年に入り瞬く間に世界中に蔓延し、大きな健康被害と経済の急減速をもたらしました。

春先までは感染が拡大し、このような国を揺るがす甚大な事態になる事を多くの国民が予想していなかったと思います。

しかし、人類は過去にも天然痘、ペスト、スペイン風邪など多くの感染症と闘い、克服してきた歴史があります。

日本においての疫病の記述は、備後風土記逸文に次のように記されています。

素盞嗚尊が旅の途中、一夜の宿をある兄弟に頼んだ。裕福な弟の巨旦将来には断られたが、兄の蘇民将来は快く迎え入れた。翌朝、素盞嗚尊は「疫病が流行れば茅の輪を作って門に懸けよ」と言い残して立ち去った。その後、疫病が流行り、茅の輪を門に懸けた蘇民将来一家は助かったが、巨旦将来一家は滅んだ。

この故事にならって各地で茅の輪の神事が行われるようになりました。

古来も疫病に苦しんだ事が伺い知れる記述ですが、日本人の美徳である「誠実と努力」を重ねる事により、この度の新型コロナウイルスも必ず克服出来ると信じる次第です。

安原伝兵衛物語

14

大久保長安は優れた演出家でもあった。新しく設定した銀の輸送街道を通り、釜屋間歩の成果を、徳川家康や世間に広め、同時に自分の名声を高めようと考えた。演出家は本人、役者は安原伝兵衛、舞台は伏見城だ。

「伝兵衛よ、この度徳川家康公直々に拝謁する機会を得たぞ、何とも光栄な事よ」

伝兵衛にとって光栄どころか災難のようなものだ。

「儂のような田舎者が天下人に拝謁するなんて、どげしても勤まりませんけん、何卒ぞ勘弁してごしない」

「何を申すか、一生一代の名誉なことだ。辞退なぞ出来るものか。まあお前の気持ちも判らんでもない。儂の傍らで畏まっておればいい」

長安は伝兵衛に有無を言わさなかった。長安は選んだ陸路の村や宿場に助郷を組織して人足と牛馬を準備させた。

徳川家康から贈られた辻ヶ花染胴服

出発の日が来た。

奉行所の前庭に、五十頭の牛馬が並んだ。十貫目の銀を納めた木箱を牛馬の背に振り分け、白地に紺の葵の御紋入りの旗が立てられた。行列の前後左右に警固役の侍が寄り添うと出発だ。漆塗り金箔飾りの大名駕籠で長安が進む。伝兵衛は駕籠を辞退して徒歩で従った。

大森ー赤名ー三次の懐かしい街を通過する度に、鳳泉寺の住職や美味しかった鮎の川魚店を懐かしく思った。昔とった杵柄で、馬の手綱を把って歩く馬子にかえり一人旅ができたら楽しいのにと思う伝兵衛だった。四日の旅が終り、尾道港から船旅となった。鞆、牛窓、明石、西宮など十四の湊で風待をしながら大阪の御銀蔵に着いた。長安と伝兵衛は淀川をのぼり伏見に到着した。二十四日の旅だった。

慶長八年（一六〇三）八月一日、二人は伏見城に登城した。

何百畳あるのか見当もつかぬ大広間で謁見が行われた。伝兵衛は借りてきた猫のように長安の傍から離れられず、ぴったりと寄り添った。

「これ伝兵衛、もうちっと離れんか」

「へへッ」

周りには名のある武将と着飾った美女が蝟集している。

（まるで見世物じゃけんな。こんな場違いの場所へ来たらいけんかったがね）

顔を上げたのは一瞬、後は膝元の青畳をもっぱら見つめ続けた。

長安はさすが元猿楽師、晴舞台に水を得た魚の知く振舞うが、無理に連れて来た伝兵衛が動きを止めるのが辛いところだ。

やがて本日の目玉商品、銀作りの山車が登場した。長安が庇っていた白布を取ると、一間四方の台に、白砂を敷きつめ浜州に見立て、銀をふんだんに使った蓬莱山が聳えている。衆目がこの一点に集まると、「拙者大久保長安とこれに控えまする山師安原伝兵衛が石見銀山の釜屋間歩より掘り出したる銀でござりまする」と口上をのべた。その声は朗々と大広間の隅々まで届いた。続いて遠い上座の徳川家康から尊きお言葉を賜った。しかし伝兵衛にはよく判らなかった。長安の所作に合わせてひたすら頭を下げるうちに儀式は終わった。

「伝兵衛よう勤めたぞ」と長安は上機嫌だ。

長安には石見守、伝兵衛には備中守の官命を賜り、更に伝兵衛に辻ヶ花染胴服と扇子が贈られた。

七五三詣り

本年は下記の年齢の子供が七五三です。ご祈祷は随時奉仕しておりますが、予約をお願致します。

3歳　平成30年生　男・女
5歳　平成28年生　男
7歳　平成26年生　女

七五三詣りは「かぞえ年」で行うのが本義ですが、諸事情により「満年齢」でもお参りされています。

神道Q&A

〈山の神〉

【質問】

よく自分の妻の事を「山の神」と言いますが、妻と山がどのような関係にあって、そう呼ばれるようになったのでしょうか。

【答え】

「山の神」について説明する際には、二つの点から見る必要があります。

まず一つは古典にみられる「山の神」です。『古事記』には伊邪那岐命、伊邪那美命による神生みにより大山津見神が、また後の段では、火の神である迦具土神の身体から奥山津見神のほか、七柱の神々が成ったことが記されているように、多くの山の神々の名が挙げられています。

もう一つは民間信仰における「山の神」です。この信仰は人々の生活と密接に関わっているため、その地域によりさまざまです。山の神に対する一般的な信仰は、春になると山から里に下り、五穀豊穣を助ける田の神となり、秋に収穫が済むと再び山に戻る農耕神として考えられています。また山には先祖の御霊が鎮まるとも考えられ、祖霊に対する信仰とも関わっています。

林業など山の仕事に携わる人々にとっての山の神とは、多くの場合は女性神と考えられ、山を護る神であり、お産の神としても信仰されています。年に何回かの山の神の祭日に山に入ると災難に遭うなど、祟りが恐ろしい神ともいわれています。

また、漁業に携わる人々にとっても、山は航海の上で大切な目印であり、古来から深く信仰されてきました。

中世末以降、俗称として自らの妻を「山の神」と呼ぶようになったのは、山の神の神楽に巫女が杓文字を持って舞ったためともいわれています。

歌舞伎などに登場する「山の神」の恐ろしい姿は特に印象的です。

コロナ禍での祭事

四月十七日、新型コロナウイルス感染症が拡大により政府から全国に緊急事態宣言が発出された事を受け、五月十七日の春季大祭は供膳祭を中止し、祭典は責任役員八名のみ参列として、奉仕致しました。

緊急事態宣言は五月三十一日に特定警戒八都道府県を除く三十九県が解除されましたが、七月三十日の夏祭も例年通りの執行は困難と判断し、本年は過密を避けるため、茅の輪の設置と人形の奉納を八月二日までと四日間に延長し、国及び岡山県の感染防止対策の指針に沿って、茅の輪の前に社会的距離を置くための足形及び消毒液を設置し、手水の柄杓及び鈴緒の撤去を行い夏祭を執行した結果、適度な人数で、分散した茅の輪くぐりを行う事が出来ました。

七月三十日夏祭に設置された茅の輪

七月二十三日に開催された「みんなの想火プロジェクト」の竹明かり

秋季大祭の予定

10月17日（土）

午前10時

鶴崎神社秋季大祭（供膳祭）➡例年通り執行。

午後7時

八幡神社秋季大祭

➡例年通り執行。

表参道提灯点灯

露店あり

10月18日（日）

神幸祭は中止。

鶴崎神社大祭神札は幹事さんを通じ、全氏子に配布致します。

参集殿建設会計報告

平成三十年、総代会において参集殿建設が決議され、同年趣意書配布令和元年には募財活動の開始と並行して建設工事が始まり、同年年末には参集殿が無事完成、竣工致しました。これも偏に氏子の皆様方の赤誠溢れる浄財の奉納とご協力の賜物と厚く感謝申し上げる次第でございます。本年五月、玉垣設置を終え関連する全ての工事が終了致しましたので、参集殿建設会計の決算書を掲載し、報告とさせて頂きます。

参集殿建設会計決算書

（平成30年12月1日～令和2年5月31日）

【歳入】

科目	金額	備考
奉納金	31,762,150	1,749件
繰入金	48,806,727	営繕積立金
借入金	9,000,000	金融機関
雑収入	25,097	祝金、利息
合計	89,593,974	

【歳出】

科目	金額	備考
解体工事	4,136,000	職舎、神輿庫、倉庫、藏、参拝者トイレ
基礎工事	13,215,375	
仮設工事	1,929,160	
木工事	23,785,045	参集殿、社務所改装（神輿庫、トイレ）
屋根板金工事	3,821,480	
左官工事	4,425,780	参集殿、社務所
電気工事	3,957,150	
建具工事	4,997,600	
水道工事	3,296,437	
設備工事	1,095,190	
内装工事	3,882,290	
その他工事	2,434,260	
消費税	5,724,233	
設計費	3,800,000	平松アーキテクト
擁壁工事	3,393,360	追加工事
玉垣設置費	1,870,000	
備品費	3,447,159	什器等
印刷費	125,604	趣意書印刷等
祭典費	158,373	地鎮祭、上棟祭、竣工祭等
通信費	30,508	切手等
消耗品費	990	
雑費	67,980	
合計	89,593,974	

参集殿建設 高額奉納者名玉垣設置

令和二年五月、二十万円以上ご奉納の方々のお名前を刻した玉垣を参集殿前に設置致しました。

総代の異動（令和2年6月1日付）

帯高南古開	
新任	退任
三浦　正五 倉敷市帯高四三二ー三	鈴木　裕二 倉敷市帯高三九九ー二

祭事暦

十月十七（土）
［午前十時］鶴崎神社秋季大祭【供膳祭】
［午後七時］八幡神社秋季大祭（露店あり）

十一月十五日を中心に　七五三祈祷

十一月二十三日（月）
［午後二時］新穀感謝祭

一月二日（土）［午後二時］年始祭

毎月一日［午前九時］月次祭

※各祭典はどなたでも参列出来ますので、お誘い合わせご参拝下さい。

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により随時ご奉仕致しております。

◆家内安全・交通安全・初宮詣・七五三詣・厄除・九星災難消除・安産・当病平癒・学業成就・その他

◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・埋井祭・改装清祓・解体清祓・神葬祭・霊祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。